

薬学

南会津病院 薬剤部

平成30年度採用

わたしを表すKEY WORD

#会津地域のグルメ

会津地域には、お蕎麦を始め、美味しいグルメがたくさんあります。休日は、家族や友人とそれらを食へに行くことが楽しみです。

#温泉

福島県内には様々な温泉地があり、その土地を観光し、美味しい食事や広いお風呂でゆっくりと過ごすことがリフレッシュとなっています。

#新米ママ

#音楽フェス

#スポーツ観戦



[職歴]

H30～ 南会津病院 薬剤部

福島県の地域医療を支える薬剤師

南会津病院は、南会津地域で唯一の基幹病院です。救急医療や透析、在宅医療も提供しており、地域医療の中核を担っています。

この病院の薬剤師として、調剤や服薬指導を行うことはもちろんですが、チーム医療の一員として多職種と連携し、患者様に安全で効果的な薬物治療が提供できるよう努めています。

県職員を目指した理由

東日本大震災以降、生まれ育った福島県の役に立ちたいと思っていたところ、県職員の薬剤師として活躍されている先輩方がいることを知り、私も薬剤師として福島県に貢献したいと考え、県職員を志望しました。



とある一日のスケジュール

8:30	ミーティング カルテチェック
9:00	調剤・鑑査・疑義紹介 (常時)
10:00	化学療法のミキシング 患者指導
12:00	昼休み

13:00	病棟カンファレンス
14:00	配薬監査
15:00	入院患者への服薬指導
16:30	委員会への参加
17:15	終業

薬学職の面白いところ

南会津病院は、小さい規模ながらも化学療法や透析など様々な治療に関われるため、幅広い知識を得られるところが魅力だと思っています。

また、病院だけでなく、県庁や保健所、研究所など様々な職場を経験できることが県職員の薬剤師である魅力でもあると考えています。

**福島県職員として、実現したいこと・目標としていること**

病院薬剤師として、患者様や医療従事者の方々から信頼される薬剤師となることを目指しています。そのために、患者様やそのご家族、医療従事者の方とコミュニケーションを図りながら、その患者様に適した指導や提案ができるように、日々自己研鑽に努めています。

受験者へメッセージ

県職員の薬剤師は、薬学の専門的知識を活かして、病院、行政、研究など幅広い分野から県民の健康を支えています。私たちと一緒に福島県のために働いてみませんか？